

第30回ITER理事会の開催結果について

文部科学省 研究開発局
研究開発戦略官（核融合・原子力国際協力担当） 付

第30回ITER理事会の議題等

日 程： 令和4年6月15日（水）・16日（木）

※ハイブリッド形式により開催。日本政府代表団はITER機構本部（サン・ポール・レ・デュランス市）にて対面出席。

議 長： ガリバ 欧州委員会エネルギー総局副総局長

出席者：

（日本）柳 文部科学審議官、鎌田 QST那珂研副所長（文部科学省参与）ほか

（欧州）パネック 欧州委員会エネルギー総局ITER局長 ほか

（米国）ビンクリー エネルギー省科学局首席副局長 ほか

（ロシア）ボロフコフ 連邦政府官房副補佐官 ほか

（中国）チャン 科学技術部副部長 ほか

（韓国）パク 科学技術情報通信部巨大科学政策局核融合課長 ほか

（インド）グローバー 原子力委員会委員 ほか

（ITER機構）多田 機構長 ほか

議 題：

- （1）開会挨拶（議長、各極首席政府代表、機構長）
- （2）ITER計画進捗報告
- （3）ITER建設活動のマネジメント
- （4）その他



写真：©ITER Organization

（令和4年6月時点・ITERサイト）

第30回ITER理事会の結果概要 (2022年6月15日・16日)



文部科学省

写真：©ITER Organization

1. ITER計画の進捗

- 運転開始までの建設作業は約77%進捗。
- 新型コロナウイルスの影響下においても、**主要機器がITERサイトに納入**されるなど、組立活動が進展。

日本が納入したTFコイル
(6機目)



- ❑ 超伝導トロイダル磁場(TF)コイル(日本製)と最初の真空容器セクター(韓国製)の部分組立が完了し、トカマクピットへセッティングされた。
- ❑ 3番目の真空容器セクター(韓国製)がサイトに到着。
- ❑ 日本・欧州の超伝導トロイダル磁場(TF)コイル計13機がサイトに到着。その他の超伝導磁石の製作も進展。
- ❑ 冷却システムの調整が完了し試運転に移行するなど、サイトにおける組立活動が多数進展。

韓国が納入した真空容器セクター(3機目)



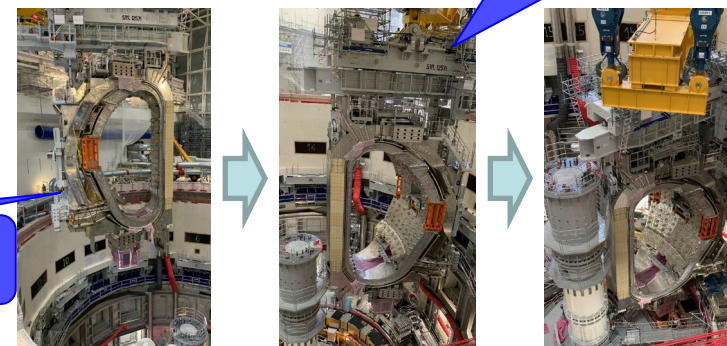
最初の真空容器セクターのトカマクピットへのセッティング

- 新型コロナウイルスの影響等を踏まえ、プロジェクトの進捗を維持するための緩和策など、プロジェクトベースラインが議論された。緩和策の例：サイトにおいて段階的に実施することとしていた作業を同時進行で実施

2. その他

- 5月に逝去したビゴ 前機構長に哀悼の意を表し、**多田 機構長**※の努力を称賛。
(※) 次期機構長就任までの暫定機構長
- フランス原子力規制当局 (ASN) とITER機構の協議状況を聴取。
- 2年ぶりの対面開催 (一部の極はリモートで参加) 。

真空容器セクターに組み込まれているTFコイルは日本製



(ビゴ前DG)



(多田DG)



(ITER理事会の様子)